平成２９年度

特別支援教室要覧

東京都調布市立調和小学校
特別支援教室拠点校
のがわ教室
〒１８２－０００６　調布市西つつじヶ丘４－２２－６
ＴＥＬ　０４２－４８５－４８１８（学校）
ＦＡＸ　０４２－４８５－４８３３（教室直通）
ＴＥＬ　０４２－４８５－１２７７（教室直通）

Ⅰ　教室の概要

１　拠点校　　　調布市立調和小学校

所在地　　　調布市西つつじヶ丘４－２２－６
ＴＥＬ　０４２－４８５－４８１８
ＦＡＸ　０４２－４８５－４８３３（教室直通）
ＴＥＬ　０４２－４８５－１２７７（教室直通）

２　教室名　　　のがわ教室

巡回校　滝坂小学校	所在地	調布市東つつじヶ丘 1-4-1
	TEL	03-3308-5515
	指導曜日	火曜日、水曜日、金曜日
巡回校　緑ヶ丘小学校	所在地	調布市緑ヶ丘 2-16-1
	TEL	03-3308-6166
	指導曜日	月曜日、木曜日、金曜日
巡回校　若葉小学校	所在地	調布市若葉町 3-17-5
	TEL	03-3308-5256
	指導曜日	月曜日、水曜日、木曜日、金曜日
巡回校　国領小学校	所在地	調布市国領町 8-1-55
	TEL	042-488-0551
	指導曜日	火曜日、水曜日、木曜日

７　指導人数

（平成２９年５月１日現在）　　　　（単位：人）

学校名	滝坂小		若葉小		緑ヶ丘小		国領小		調和小		杉森小		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
１年	3	0	1	1	1	0	1	0	6	1	0	0	12	2
２年	1	1	4	1	3	0	7	2	7	0	0	0	22	4
３年	3	0	5	1	0	0	1	1	7	4	0	0	16	6
４年	9	1	4	1	3	3	3	0	5	1	0	0	24	6
５年	1	0	2	0	2	0	4	0	4	0	0	0	13	0
６年	2	1	0	0	4	0	6	1	3	0	1	0	16	2
計	19	3	16	4	13	3	22	4	32	6	1	0	103	20
													計　123	

８　拠点校施設　　　プレイルーム１　　教室２　　箱庭室１　　個別学習室３
教材室２　　倉庫２

Ⅱ　教育目標

1　特別支援教室の教育目標

特別支援教室の拠点校として巡回指導教員により、発達障害等のある児童に対して自立活動を中心とした指導を行う。障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な力を高めるとともに、情緒の安定を図り充実した学校生活を送れるようにする。

①集団に適応し、すすんで活動できる子供に育てる。
②学校や社会で自信をもって生活できる子供に育てる。

2　教育目標を達成するための基本方針

①障害の状態を的確に把握し、児童一人一人の特性に応じた個別指導計画に基づき指導を行う。
②児童相互の人間関係を深め、社会性を育てるため、個別指導や小集団指導を行う。
③児童の在籍学級における課題を把握し、巡回指導教員と学級担任、保護者と連携した指導を行う。
④外部の専門家からの助言を活用し、児童の指導の見立てを行う。

3　指導の重点

①言葉によるコミュニケーション能力を育て、対人関係を構築する力を育成する。
②自己理解を高め、自己の気持ちや行動をコントロールする力を高める。
③日常の学校生活を振り返るとともに、見通しをもって生活する力を養う。
④姿勢と運動・動作の基本的技能の習得及び改善を図る。
⑤教科の補充指導は、児童の状態により、障害の状態を考慮して行う。

4　その他の配慮事項

①特別支援教室の場の整備をさらに進めるとともに、児童の一人一人の状態に応じた教材・教具を工夫する。
②児童理解を深め共通理解を図るために、適宜巡回校含む教師間の打ち合わせを行う。
③巡回指導教員は、児童の在籍学級における環境整備や教職員への指導に対する配慮事項等についても助言を行う。
④特別支援教室における指導の効果を高めるため、各学校の特別支援教室専門員と積極的に連携する。

Ⅲ　指導の実際

（１）指導内容　　児童の実態に応じて、小集団指導と個別指導を組み合わせて、指導を行う。

小集団指導	①コミュニケーション ロールプレイや教師による寸劇を通して、社会性のスキルを学習し、身に付ける。 ゲームや話し合い活動を通して、身に付けた社会性のスキルを活用する場を設ける。
	②運動 ア．姿勢と運動・動作の基本的技能（腹筋の運動，背筋の運動，サーキット，ボール運動，縄跳び，跳び箱・マット運動等），身体調整力、バランス感覚を高めることができるよう系統的に指導を行う。 イ．在籍校での集団参加をスムーズにするための基本的な技術やルール，人とのかかわり方などを身に付ける。
個別指導	一人一人の課題に沿った指導計画に基づき、個別に学習する。 ①【小集団指導の見通し、振り返り】 コミュニケーション１，２の学習を円滑に行うための見通しをもたせるための指導や、活動の振り返り。 ②【生活の見通し、振り返り】 在籍学級での生活を円滑に送るために見通しをもつ指導や学級での生活の振り返り。 ③【読む書く話す】 読み書きに関する指導 ④【教科の補充】 教科の補充 ⑤【身体の動き】 運動（基本的技能の補充、身体調整力等） ⑥【身辺整理】 身辺処理に関する指導 ⑦【人とのかかわり】 人とのかかわりに関すること

（２）指導時間　　一人当たり２時間程度　　（児童の実態に応じる）

３．在籍学級との連携

・日誌

在籍学級担任、保護者の方にのがわ教室での様子を伝えるために，指導の状態を記入した日誌を届ける。在籍学級での様子なども記入してもらうことにより，連携の手段として活用する。

・個別指導計画及び報告書

児童の在籍校が市教育委員会に年度毎に提出する教育課程届に基づいて個別指導計画を作成する。個別指導計画及び報告書は，保護者に提示するとともに，在籍校にも提出し，両者が連携し指導する。

Ⅴ　のがわ教室の行事予定

・5，６月　在籍校訪問期間

・6，７月　保護者面談

・7 月　　　講演会（拠点校にて）

・9，10 月　保護者面談

・12 月　　 講演会（拠点校にて）

・1,2 月　　保護者面談